

ラダー	目標		研修内容			研修日程		担当			要件 予定人数	メモ			
	到達目標	ねらい	研修名	項目/内容	形式	種類	開催日(予定)	所要 時間	講師	委教 員育			担当セクシ ョン		
新卒1、2年目 ラダーI	1. 網走厚生病院の理念を理解し組織の一員としての自覚をもち社会人として、また専門職業人として基本的姿勢と態度で、責任ある行動がとれる(医療倫理・看護倫理・コンプライアンス)	網走厚生病院の職員としての自覚を持ち、当院の看護について理解する。 職場への意欲的な導入を図る。	看護部オリエンテーション・技術研修	看護部の概要 理念・方針・目標 委員会・職業倫理・コンプライアンス・個人情報・AMS 災害・防災管理・防火設備 「地下・1F・2F消火栓・AED等の確認」 院内案内 看護部の教育体制① キャリア開発ラダー、看護師会・看護協会、BSC、人事評価制度について 看護職として働くこと(社会人基礎力) 自己紹介・コミュニケーション 看護部の教育体制② 新人看護職員研修概要、個人票の書き方 感染管理(予防策・手洗い・廃棄物取り扱い等) 技術研修「採血」「血糖測定」 技術研修「口腔ケアと胃管挿入・経管栄養」 PNS 認知症ケア加算について グループワーク 技術研修 「体位変換」「寝衣交換・おむつ交換」「移乗・移動」 情報管理 バイタルサインなどの入力演習	講義 講義 講・演 講・演 講・演 講・演 講・演 講・演 講・演 講・演	必須	4月2~5日		看護部長 看護副部長 業務担当科長  業務担当科長 業務担当科長  認知症看護認定看護師  業務担当科長  ICN 係長会 係長会 係長会 認知症看護委員会 看護部長  業務委員長			新卒 23名	・看護技術を指導者のもとで実施(指導手順の活用)  シミュレーター貸し出し		
	2. 看護部の理念を理解しセクション内及び自己の看護活動についてその結びつきを理解できる			夜勤への不安の軽減と業務内容を知ることにより夜勤に意欲的な導入を図る	夜勤前オリエンテーション	夜勤自立までの流れ、業務、体調管理、夜勤明けの注意点について	講義	必須	4月16日		教育担当科長				
	3. 基礎的な知識と技術を習得し指導助言を受けながら安全で安楽な看護が提供できる	基礎的技術の習得を図る			倫理研修 I	「臨床における倫理とは」(CD2401-a) 「臨床倫理の基本的概念①②」(CD2401-b,c)	学研	必須	4月						
					接遇研修	本部主催 新入職員対象	講・演	必須	5月16日		本部			総務課	
					BLS研修	救急蘇生に必要な基本的知識	講・演	必須	5月・6月		院内救急委員会			救急	*依頼済み
					静脈注射研修	・静脈注射を安全に実施する基礎知識が理解できる ・静脈注射チェックリストに準じた安全な手順が理解できる	講義	必須			教育委員	○			4月末 技術到達評価
					メンバーシップ I 研修①	「これであなかも静注・静脈留置針マスター」(AA2459) (研修前に視聴) ・チームにおけるメンバーの役割を理解する ・チームメンバーとしての行動を考えることができる ・必要なコミュニケーションが理解できる	学研 講義 GW	必須	6月		教育委員 教育委員	○ ○			他職種も参加
					フィジカルアセスメント①	「メンバーシップ・フォローアップ」(ALA2453) ・フィジカルアセスメントの基礎	学研	必須	5月		教育委員 教育委員	○ ○			
					褥瘡研修会	・褥瘡予防・スキンケア ・褥瘡発生メカニズム ・体圧分散など			7月		褥瘡委員会				
					医療安全講習会	新人対象	講義	必須	6~7月	60分				医安	メンバーシップ研修と同日
					放射線・MRI安全管理講習会		講義	必須	6月	60分	放射線技師			放射線科	
					技術研修③ 技術研修④ 技術研修⑤ 技術研修⑥	多重課題 無菌操作 ・ 筋肉注射 気管内挿管介助 パリエスによるデスト研修	講・演 講・演 講・演 講・演		検討中 検討中 検討中 検討中		係長会			係長会	6月末 技術到達評価 9月末 技術到達評価
					ローテーション研修	技術到達目標「I」の項目に対し未習得な物について学ぶ	他部署で体験学習	任意	10月~12月		指導者			係長会	随時
					メンバーシップ I 研修②(フォローアップ) 看護過程・ケーススタディ導入	・メンバーシップにおける自己の課題を明確にできる ・課題解決のための具体策を考えることができる ・看護過程の理解を深めることができる ・ケーススタディの目的・方法を理解し、実践に繋げることができる	講義 GW		1月		教育委員	○			他職種も参加
				フィジカルアセスメント②	・実践！アセスメント力を高める フィジカルイグザミネーション(AA2401-a,b,c,d)	学研	必須	12月		教育委員	○		2月末 技術到達評価		

※ 技術指導に関し、ナーシングメソッドを活用。教育委員会・業務委員会・他委員

ラダー	目標		研修内容				研修日程		担当			要件 予定人数	メモ		
	到達目標	ねらい	研修名	項目/内容	形式	種類	開催日	所要時間	講師	委 教 員 育	担当セク ション				
ラダーⅡ 卒後2～4年目目安 メンバースhip ケーススタディ終了	1.看護チームの一員として、自覚と責任ある行動が取れる 2.メンバースhipの理解とチームメンバーの役割を果たすことができる 3.受け持ち患者に適切な看護ができる	チームメンバーの役割を發揮し、自己の実践課題を明確にする	メンバースhipⅡ研修	問題意識を持って日常業務を行い、問題解決のためのメンバースhipが理解できる	講義 GW	必須	8月		教育委員	○			*患者アセスメント事例のGWを		
		アセスメントから患者の全体像をとらえ、受け持ち患者の看護過程の一連をまとめる	ケーススタディ研修	受け持ち患者の看護過程をケーススタディとしてまとめ振り返ることができる	発表会	必須	10月		教育委員	○					
		レベル3薬剤投与のため正しい知識をもとに安全にCVポートデバイスから静脈注射抗がん剤投与ができる	静脈注射研修① 静脈注射研修② ポートアドバンスコース	静脈注射やレベル3の薬剤の必要な知識を理解し実施できる ①安全対策・法的責任・薬剤管理 ②感染対策ポートについて、アドバンス 穿刺練習	講義 演習	必須	1月			薬剤師・SM・IC N・CCN	○				※静脈注射レベル3は卒後2年間なので2月が妥当(最短で2年目1月) *6月実施するかケモ委員会と検討
		指導者として新人との関わりを振り返り今後の課題を明確にする	新人指導者研修 (フォローアップ)	新人指導を振り返り今後の課題を明確にすることができる	講義 GW	必須	8月			教育委員・係長	○				*困った事例の指導事例を用いたGWを
		各部署の看護の特殊性を知り、自部署の看護に結びつけ、臨床実践能力を高める 臨床場において倫理問題に気づくことができる	ローテーション研修		他部署で 体験学習	任意	7～9月			指導者		係長会		未習得なもの	
				「看護実践の場における倫理的課題」(CD2403-a)	学研	必須	4～6月				○				
			倫理研修Ⅱ	意思決定を支える力として、ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認しケアに関連づける事ができる	講義	必須	7月			教育委員	○				
				ニーズを捉える力、ケアする力の向上		必須	7月			各専門・認定看護師	○				
			看護理論や概念を理解し事例研究の一連のプロセスを学ぶ	事例研究導入研修	事例研究のプロセスを理解できる 看護理論や概念の活用方法を理解し実践に繋げる事ができる		必須	2月		教育委員	○				
			新人指導者としての役割が理解できる	新人指導者導入研修	新人の特徴を理解し、指導の実践に繋げる事ができる			2月		教育委員・係長	○				
ラダーⅢ 4年目～7年目目安 リーダーシ 事例研究終了	1.リーダーシを理解し、チームの目標達成に向けて貢献できる 2.受け持ち看護師として、人間性を尊重した個別的な看護が実践できる 3.患者・家族の意見・希望を汲み入れた看護が実践できる 4.新人の指導ができる  事例研究をラダーⅢでの必須条件とし、PDCAはラダーⅣ「チームリーダー研修」として	看護研究メンバーの一員として研究に取り組むことができる	看護研究研修① 看護研究研修② 看護研究研修③	看護研究～研究テーマの絞り込み～ 看護研究～研究計画書編～ 看護研究計画書完成 結果・考察の考え方  別紙参照 3講義視聴 「看護研究とは」(BBS2402) 「研究テーマの絞り込み」(BBS2403) 「計画書を作成する」(BBS2409)	講義・GW 講義・GW 講義・GW  学研	必須 必須 必須	4月 5月 9月		川合看護科長 川合看護科長 川合看護科長	○ ○ ○			他のラダーも参加可能		
		研究計画書を立案し、計画書に基づいた看護展開を実践し、理論や根拠をもとに考察しまとめる	事例研究研修	受け持ち患者の看護過程を事例研究としてまとめ看護を振り返ることができる	発表会	任意	2月		教育委員	○				ケーススタディ研修修了者	論文作成の指導はOJT 教育委員会は取り組み者の把握、発表会の企画、開催
		リーダーシを理解し所属部署においてリーダーシが発揮でき、指導的役割が遂行できる	リーダーシⅠ研修	リーダーとして所属部署での自己の役割を認識でき、課題を明確にする	講義 GW	必須	9月			教育委員・係長	○				*困った事例の指導事例を用いたGWを
		ニーズを捉える力、ケアする力、協働する力、意思決定を支える力の向上		患者の身体・精神・社会的側面からアセスメントし、看護展開につなげることができる	講義 GW	任意			各専門・認定看護師	○					
		臨床実習指導者としての役割が理解できる	臨床実習指導者導入研修	学生の指導要綱を理解し、ニーズに応じた指導ができる	講義 GW	任意	3月			臨床実習指導者講習受講者	○			初めでも 経年者でも 可	*事例を上げてGWを
		指導者として新人との関わりを振り返り今後の課題を明確にする	新人指導者研修	新人指導を振り返り今後の課題を明確にすることができる	講義	必須	2月			教育委員会・係長	○				
		倫理問題への対応について教育的役割を果たすことができる	倫理研修Ⅲ	①倫理的ジレンマから問題や課題を明確にすることができる ②倫理原則に沿って看護を振り返り実践に繋げる事ができ「倫理的な看護実践」(CD2403-c)	講義	必須	6月			教育委員会	○				
		厚生連の事業を理解し、保健・福祉活動に参加できる	ローテーション研修	訪問看護、地域包括病棟などを含め研修する 退院前後訪問レポート提出			適宜			科長					
		退院後の生活の場について理解し、多職種との連携を進めることができる	退院支援ケア研修	①在宅・施設ケアについて理解する。 ②退院前後訪問等を含めた事例についてGWを通して振り返る	講義・GW		未定			教育委員会 退院支援WG	○				

ラダー	目標		研修内容				研修日程		担当			要件 予定人数	メモ		
	到達目標	ねらい	研修名	項目/内容	形式	種類	開催日	所要時間	講師	委教員	担当セクション				
ラダーIV	1. 組織目標(厚生連)達成に向けて主体的に行動できる 2. 看護実践モデルとしてリーダーシップを発揮し、看護の質向上に貢献できる 3. 良質な看護提供のために他部門と、調整や連携に目を向けることができる 4. 在宅などへの継続性、地域医療連携などを視野に入れた看護を実践できる 5. 学生・後輩の個々に応じた指導ができる	組織目標に向け主体的に行動できる リーダーとして自部署を分析し、次年度の部署目標の立案に参画できる	リーダーシップII研修	リーダーとして自部署を分析し、次年度の部署目標の立案に参画できる(SWOT分析)	講義 GW	必須	9月導入研修 1月GW				○		他係長含むラダー認定を考えている方		
					「多職種協働・効果的なケア移行における看護師の役割とリーダーシップ」(HEA2412-d)「社会人としてのキャリアの描き方」(AA2411-b)	学研	必須	6~7月							
		日常的に問題意識を持ち、部署全体の状況を把握しPDCAを用いて取り組むことができる	チームリーダー(PDCA)研修	自己の課題を持ち主体的に取り組むことができる(個人・共同、院内外発表については問わない) ①研究計画書または②プレゼン企画書(PDCA)作成する。必ず2サイクル以上回すこと。	講義  発表会	任意	6月  1月			教育委員会 (文書配布)		○		ラダー認定を考えている方	
		ニーズを捉える力、ケアする力、協働する力、意思決定を支える力の向上			患者の身体・精神・社会的側面から看護ケアマネジメントへつなげることが出来る	講義 GW	任意			各専門・認定看護師		○			
		1.倫理的問題への対応について、教育的役割を果たすことができる	ラダーIII倫理研修	オブザーバー											
	キャリア開発に向けて自己研鑽することで、次の目標や行動へ繋げる事をねらいとしている	院内交流研修	院内交流研修			任意					○	各部署	ラダー認定を考えている方		
ラダーV	1. 看護の専門性を追求した良質な看護が提供できる 2. 他職種・他チームとの調整・協議しチーム医療を提供できる 3. 問題解決や目標達成に向けてリーダーシップが発揮できる	1.倫理的問題の対応について、コーディネートの役割果たすことができる	ラダーIII倫理研修	オブザーバー											
		自分のキャリアプランを計画し、それに向かい自己研鑽・行動化できる	管理者・チーム医療コース	2テーマ自己選択	学研	必須								*一人3テーマ以上	
科長 係長			科長・係長研修	看護管理者特別コースから選択	学研	必須									
			科長・係長・ラダーIV	概念化研修 2回実施	講義									看護部教育研修費より	
			科長・係長	概念化リフレクション											
			日総研(網走)	講義											

【ラダー外研修】

全職員		1.看護補助者との協働において看護職と看護補助者の役割と責任が理解できる。 2.効率的・効果的な看護を実践するための業務実施体制の設備の方策が理解できる	看護師・看護補助者全員	看護補助体制充実加算に関わる研修	学研	必須	4月~							
-----	--	---	-------------	------------------	----	----	-----	--	--	--	--	--	--	--

\*学研ナーシングサポートの視聴内容については、別紙『令和6年度 学研ナーシングサポート 視聴予定表』を参照してください。

ラダー	目標		研修内容				研修日程		担当			要件 予定人数	メモ
	到達目標	ねらい	研修名	項目/内容	形式	種類	開催日	所要時間	講師	委教 員育	担当セクシ ョン		
看護助手 補助者レ ベルⅠ (初心者)	網走厚生病院看護部の一員として規律を守り、指導や教育の基で、基本的な看護補助業務を実践できる	チームメンバーとしての自己の役割を認識 今後の課題を明確にする	メンバーシップ研修	・チームにおけるメンバーの役割を理解する ・チームメンバーとしての行動を考慮することができる ・必要なコミュニケーションが理解できる	講義 GW		10月		教育委員	○			
			学研ナーシング 看護補助者コース	・チームの一員としての看護補助者業務の理解 ～業務範囲と役割、夜勤業務、ほう・れん・そう～ ・「環境整備」「入浴のお世話」「清潔のお世話」 「排泄のお世話」「食事のお世話」「洗面のお世話」 「口腔ケア」「移動のお世話」 上記より2講義以上視聴	学研 学研	必須	6～7月 4～12月						
看護助手 補助者レ ベルⅡ (中 堅)	網走厚生病院看護部におけるチームの一員としての看護補助業務を理解し、メンバーとして主体的に実践できる	チームメンバーの役割を發揮し、自己の実践 課題を明確にする	メンバーシップⅡ研修	問題意識を持って日常業務を行い、問題解決 の為のメンバーシップが理解できる	講義 GW		11月		教育委員	○			
			学研ナーシング 看護補助者コース	・医療制度の概要、および病院の機能と組織の理解 ・「環境整備」「入浴のお世話」「清潔のお世話」 「排泄のお世話」「食事のお世話」「洗面のお世話」 「口腔ケア」「移動のお世話」 上記より2講義以上視聴	学研 学研	必須	6～7月 4～12月						
看護助手 補助者レ ベルⅢ (習熟者)	網走厚生病院看護部におけるチームにおいて、積極的に看護補助業務を実践し、看護補助業務の習熟者として役割を担うことができる	リーダーの役割について理解し行動できる	リーダーシップⅢ	・メンバーの動きに気を配り、業務の調整ができる ・メンバーからの情報を正確に得て、事実確認を 行い必要時に上司や看護師に報告・連絡が できる	講義		12月		教育委員	○			
			学研ナーシング 看護補助者コース	・守秘義務、個人情報の基礎知識 ・「環境整備」「入浴のお世話」「清潔のお世話」 「排泄のお世話」「食事のお世話」「洗面のお世話」 「口腔ケア」「移動のお世話」 上記より2講義以上視聴	学研 学研		6～7月 4～12月						
看護助手 補助者レ ベルⅣ (リーダー)	網走厚生病院看護部におけるチームにおいて、積極的に看護補助業務を提供し、看護補助業務のリーダーとして役割を担うことができる	リーダーシップを理解し所属部署においてリ ーダーシップが發揮でき、指導的役割が遂行できる	リーダーシップⅣ(仮)	研修参加(介護福祉士枠)	講義		1月		教育委員 科長研修	○			
			学研ナーシング 看護補助者コース	・倫理の基本 ～医療機関において求められる倫理的な行動～ ・「環境整備」「入浴のお世話」「清潔のお世話」 「排泄のお世話」「食事のお世話」「洗面のお世話」 「口腔ケア」「移動のお世話」 上記より2講義以上視聴	学研 学研		6～7月 4～12月						